

「海岸林再生プロジェクト10カ年計画」 若者に託す プロジェクトの未来

東日本大震災復興支援「海岸林再生プロジェクト」ではスタート当初から10年後、さらにその先の未来を見据え、「地元が主役」「若者の参画」を呼びかけてきた。まだ海に近寄ることができないという被災者もいる中、少しずつではあるが「地元の若者」のプロジェクトへの参画が増えてきている。宮城県名取市の教育現場から届いたレポートを紹介する。

名取北高校は、2016年5月に初めて植樹祭に生徒29名、職員2名で参加しました。現場に到着すると吉田俊通担当部長が目を細めて迎え入れてくださったことを昨日のことのように思い出します。

後日、部長が来校の折、植えたクロマツが成木となって海岸林になるまで30年から50年を要するため、現在活動を推進している私たちの世代から、地元の若い世代に引き継いでもらわないと未来につながらないと聞きました。だからこそ多くの若者の参加が本当に嬉しかったのだと。

本校では卒業式前日に東日本大震災関連の講演会を開催しており、今年は吉田部長を講師に招きました。全校生徒に向けてプロジェクトについて解説した彼は講話を通して地元の若者への期待を切々と訴えたのです。熱のこもった心に響くお話でした。

今年の植樹祭には部長の思いを受け取った91名が自主的に参加。部長の「大人の本気」が彼らの心を動かしたのです。

名取北高校はこれからのプロジェクトに参画しながら、人育てを通して地元の皆さまと共に歩んでまいります。

宮城県名取北高等学校 校長 金澤隆志



2016年活動実績								
	内 容	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	累 計
育苗	クロマツなど播種数	—	97,500	72,500	87,250	89,856	96,400	443,506粒
	植栽面積	—	—	—	15.67	10.06*	11.00	36.73ha
植栽	植栽本数	—	—	—	80,182	55,084*	56,037	191,303本
雇用	育苗・造林・育林における雇用数	—	187	658	1,402	1,206	1,199	4,652人
市民参加	現場ボランティア数	—	—	262	1,365	1,691	1,800	5,118人
	現場視察者数	263	580	837	567	577	168	2,992人
	活動報告会参加者数	523	4,772	5,900	4,692	4,996	3,893	24,776人
	活動報告会開催数	4	43	28	30	30	26	161回
メディア	国内新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど紹介回数	24	39	27	33	38	20	181回

※本誌2016年8-9月号で報告した2015年度植栽実績に誤りがありましたので、本表にて修正しました

2016年収支報告		単位:円		
項 目		内 容	2016年度	累計(2011年～)
収 入	募金・寄附金など	一般寄附金など	87,692,022	489,737,108
	民間助成金	三井物産環境基金、国土緑化推進機構、 全日本社会貢献団体機構など	1,810,000	41,531,360
	前期繰越金		49,308,161	—
	合計		138,810,183	531,268,468
支 出	育苗事業	「名取市海岸林再生の会」への育苗事業委託、 資機材購入、技術習得・研修実施等	11,238,533	120,159,910
	造林・育林事業	宮城中央森林組合への植栽・施肥・下刈り・ 除伐委託等	39,077,772	87,182,581
	調査事業	モニタリング調査、将来ビジョン形成調査、 名取市海岸林史聞き取り調査等	364,994	9,206,875
	啓発普及事業	現地視察会・シンポジウム・活動報告会開催、 支援者コミュニケーション等	11,888,884	63,986,318
	支出総額		62,570,183	280,535,684
	次期繰越金		43,443,584	43,443,584
	特定費用準備資金※	2033年までの長期育林費用として	32,796,416	207,289,200
	合計		138,810,183	531,268,468

※公益法人が、実施期間や内容などが明確な事業に対し、将来の計画的な実施のために積み立てる資金のこと。内閣府に提出した計画に基づいて積み立てられます。



2014・15年植栽地全景。1年前よりクロマツが色濃くなった

表紙で見る変遷！
オイスカ誌
2012年に播種し、14年に植栽したクロマツの成長を追いかけています！

